

8月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年8月末現在]

平成30年9月12日
茨城県中小企業団体中央会

猛暑による夏物商品が好調だった業界等もあり非製造業の数値が改善したため、全体の数値を押し上げた。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「収益状況」は改善したが、「売上高」は悪化した。非製造業では、「売上高」「収益状況」は改善したが、「景況」は悪化した。

景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-3.8ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント悪化の-8.3ポイント、全体では、前月2.0ポイント改善の-6.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント悪化の-23.1ポイント、非製造業は、前月比29.1ポイント改善の8.3ポイント、全体では、前月比12.0ポイント改善の-8.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比で変化なしの-23.1ポイント、非製造業は、前月比9.2ポイント改善の-20.0ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-20.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	パン	公立の小中学校が夏休みで生産が止まっている。そのため、売上、収益などが一時的に悪化している。 水戸市などは今年度より夏休みの日数減(3日ほど)を実施している。
		館	
		味噌	暑さの影響で需要の停滞が続いている。 原材料価格の上昇も続いており、引き続き厳しい業況にある。
		酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県7月の課税移出数量は、96.2%と落ち込みが続いている。また、6月、7月の特定名称酒も同様にマイナスであり、日本酒全体の落ち込みが続いている。焼酎も7月は低調に推移しているものの、酎ハイ用は好調の様子。一方で、6月の輸出免税数量は前年同月比100.9%と伸びが鈍い。西日本豪雨による出荷調整が影響している。 ○県内等業界について 当県酒造組合は、9月28日(金)の東京浅草「屋形船で大宴会」イベントとして、200名限定(1船50名×4船)とし、8月1日より募集中。また、翌月10月1日は、全国一斉日本酒で乾杯を開催する。茨城のメイン会場・水戸京成ホテルで、茨城県をはじめとし、乾杯条例施行自治体9市とともに、県内諸団体への呼びかけにより、乾杯シーンを公式サイトに投稿いただき、公式ホームページで発信していくもの。
		納豆	暑さの影響で、消費量が若干落ちた。ガソリンの高値により、物流費や燃料代等が値上げし、先行きが悪化するのではないかと懸念される。これに加えて、資材も値上げになった場合を考えると不安である。 最低賃金も26円上昇が決定したため、人件費が高騰し業界にとって不安材料ばかりである。
	菓子	菓子業界は暖かさに弱いため、8月は気温が高く雨不足だったため、気候による影響を大きく受けた。	
	繊維工業	織物	
		袋物	お盆の長期休暇の影響で売上は各社ともに減少。売上はアパレル業界と連動するので、猛暑の影響が大きいと思われる。
		衣服	
	木材・木製品	製材	住宅需要は、分譲系ビルダーがけん引し、地場工務店の受注量は少ない状況が続いている。 地場工務店の主な受注先である注文住宅は減少傾向にあり、リフォームに切り替える動きもみられている。 市況は全般に保合で推移。
県北地区プレカット		8月上旬は台風の影響をあまり受けず、予定通りの加工出荷状態だった。 お盆休み明けから9月上旬までは出荷が重なったがお盆前に前倒しで加工したため、納品できた。 9月中旬までは受注確保しているものの、9月下旬の予定が乏しく、懸念される。	
県央地区プレカット		お盆前は大型物件も重なり忙しい状況が続いたものの、後半は日程のずれ込みが多く見られフル稼働するまでの生産量を確保できなかった。 猛暑のため、水分補給・休憩時間延長など熱中症対策に心がけた。	
紙・紙加工品	段ボール	数量・売上共に昨年と変わらなかった。 人手不足でどこも困っている状態。 M&Aの話がよく聞かれる。	
印刷	総合		
化学・ゴム	自動車部品		
窯業・土石製品	石材		
	コンクリート製品		
	焼物	今年の夏は特に高温だったこともあり、日中外を歩いている人が少なかった。 そのため、お店やギャラリーへの来店者も少なく、売上にも繋がってこなかった。	
	生コンクリート		
鉄鋼・金属	鍍金	得意先の長期休暇に併せて業界も長期の休みを取るところが多く、作業日数も減少した。これは例年通りなことなので、得意先の業種に関係なく、受注量は前年並み、売上も同じく前年並みであった。 原材料は亜鉛が値下がり傾向、他の金属は前月に比べ、大きな変動はなかった。 薬品関係についても大きな変動はない。 自動車関連部品について、アメリカとの関税の成り行きに注目している。	
	鑄造		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の対前年同月比の売上状況は、全社が増加であり、全体増減率は113%であった。 8月は、得意先が西日本豪雨による7月の生産減を補うため、休日出勤を2日間実施した。組合員各社の売上もそれとともに増加し、7月の売上減をカバーできた。人員面では派遣への依存度が高まるが定着が不十分で、やや過剰に採用している組合員もいる。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	生産高は全体的に上向きであるが、企業間の格差が大きい。 取引条件としては、単価の引き下げを求められる傾向が強くなり厳しい状況。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高前年同月比0.7%の減少。 先月同様、猛暑又は台風の影響で来店客数、売上ともに伸び悩んだ。 月末にさんまの入荷量が増え、卸値も多少下がり、活気が出てきた。今後も順調に漁獲量が伸びることを期待している。
		県南地区卸	売上高は全体的に増加。 組合員1社が倉庫手狭により本社事務所の反対側の土地建物(土地3300㎡、倉庫3棟1250㎡)を購入予定。
		食品卸売業	8月は、野菜・果実合計で、前年同月比101%の取扱高となった。野菜に関しては、8月に入り降雨が多くなったことで7月よりも相場の下降が見られたものの、前年同月比で数量減、単価高で推移した。また、東北、北海道産の品目で曇雨天の影響による出荷の遅れが見られている。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比12%の減少。 組合が扱うメーカーブランド品に対抗して、ノーブランド品(私製袋)が、ホームセンターを通じて安値で販売され、組合扱い品のシェアが奪われていることが減少の一因である。
	小売業	県北地区共同店舗	全体的には悪かったが、一部健闘した店舗があったため、前年同月比で売上は103.2%、客数136%となった。
		県央地区共同店舗	月中に衣料品、書籍の2店が退店したため全体の売上は前年同月比96%まで落ち込んだ。既に書籍店の出店が決まっているので来月は挽回していきたい。
		県南地区共同店舗	猛暑のためか、店舗間格差の大きい月だった。 飲食部門は、まずまず好調の前年同月比104.5%だったが、衣料品は前年同月比89%と不調。 文化品(住居、雑貨、服飾)も、一部の暑さ対策、涼感商品を除いては不振だった。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	夏物商品は好調に推移した。暑さの影響で消費者から夏物商品の依頼が増え、専門店も好転となった。 反面、とても忙しく高齢のため体力が続かないと言う組合員もいた。9月は一息つく時期だが、秋の切口である防災・防犯で困りごとを聞きながら頑張りたい。年末は4K・8Kテレビに力を入れていきたい。
		石油	原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で19円上昇しているが、一部の地域では依然として安値販売競争が続いており、厳しい経営環境となっている。
		農機具	
	中古自動車	8月の車両販売価格は前年同月比102.9%、販売台数は103.2%、平均単価は99.7%となった。販売価格、販売台数ともにわずかに増加した。	
	商店街	水戸	
		筑西	台風が続き、客足が減少した。
	建設業	総合	公共工事入札において最低制限価格が設定され各社積算技術が上達し、正確な積算ができるようになった。 そのため落札価格も数千円の差での競争入札が多く、価格による競争というよりも落札価格当て競争になっている。これは最低制限価格で落札することが前提となるため、最終的には各社の利益を圧迫している。
		電気工事	
		管工事	8月は夏季休業があり、想定内の売上減少であった。
		交通安全施設	
鉄筋工事業			
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車は94.5%、軽自動車は98.5%となり、ともに減少となった。	
	ホテル・旅館	今年の夏は台風によるキャンセルがあったものの、月全般を通して猛暑であったため、後半まで集客が順調であった。特に、県央エリアに関しては、ロックインジャパンやスポーツ大会(教員バスケット大会・県議会野球大会・弓道大会・全日本ビーチテニス大会・茨城ビルフィッシュトーナメント・サーフィングラシック)等のほか、夏祭りや盆踊り、花火大会で集客率が上昇したようであったが、県北林間や県西エリアは、記録的な高温の影響を受け、個人・団体ともに売上は前年を上回らなかった。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	平成30年8月度の当組合の組合員数は117名、車輛台数は150台で平成7月度との比較増減なし。 (全国連合会の平成30年8月度の組合員数は8,232名、車輛台数は9,736台で7月度と比較して-23名、-21台の状況。) 主要顧客の夏季休暇等により、トラック稼働低下に伴い売上高が下がっている。また、燃料価格は横ばい傾向であり、収益は厳しい状況。
	貨物軽自動車運送	
	その他の非製造業	県北地区一般貨物

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	日本酒業界の全国的な取り組みの1つである「酒蔵ツーリズム」の企画連携、乾杯条例の広がりの中で、10月1日の一斉乾杯イベント支援協力をお願いしたい。
	パン	パン給食回数の増加要望
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止
建設業	総合	最低制限価格導入による入札は良い面、悪い面があると思うがそれぞれの要因を分析してさらに良い入札方法を検討していただきたい。建設業従事者が相当な報酬を得て若い技術者及び職人が育つようご協力を頂きたい。

月次景況調査 8月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比
景 況	▲ 6.0	▲ 8.0	2.0	▲ 3.8	▲ 11.5	7.7	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 4.1
売 上 高	▲ 8.0	▲ 20.0	12.0	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 3.9	8.3	▲ 20.8	29.1
収 益 状 況	▲ 20.0	▲ 26.0	6.0	▲ 23.1	▲ 23.1	0.0	▲ 20.0	▲ 29.2	9.2
販 売 価 格	12.0	10.0	2.0	15.4	15.4	0.0	8.3	4.2	4.1
取 引 条 件	▲ 8.0	▲ 10.0	2.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	▲ 12.5	4.2

中小企業月次景況調査(平成30年8月)DI値(前年同月比)

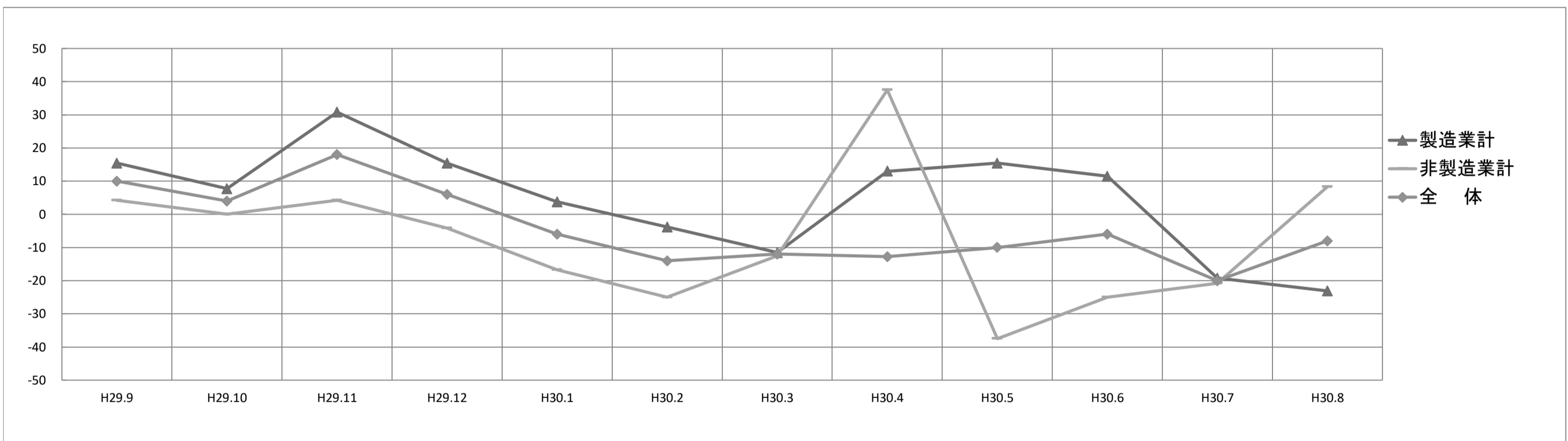
	売上高					在庫数量					販売価格					取引条件					収益状況					資金繰り					設備操業度					雇用人員					業界の景況					
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)									
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数		好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	△ 33.3	0	4	2	6	33.3	2	4	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	1	3	2	6	0.0	0	6	0	6	16.7	1	5	0	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	一般機器	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	100.0	2	0	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2	50.0	1	1	0	2
	製造業計	△ 23.1	3	14	9	26	△ 11.5	1	21	4	26	15.4	4	22	0	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 7.7	3	18	5	26	3.8	2	23	1	26	△ 3.8	2	21	3	26
非製造業	卸売業	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4																				
	小売業 (商店街含む)	18.2	5	3	3	11	△ 9.1	0	10	1	11	9.1	2	8	1	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 18.2	1	7	3	11	0.0	2	7	2	11															
	サービス業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2																
	建設業	0.0	1	3	1	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5																
	運輸業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2																
非製造業計	8.3	9	8	7	24	△ 6.7	0	14	1	15	8.3	3	20	1	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 16.7	2	16	6	24	△ 4.2	2	19	3	24																
全体	△ 8.0	12	22	16	50	△ 9.8	1	35	5	41	12.0	7	42	1	50	△ 8.0	0	46	4	50	△ 20.0	2	36	12	50	△ 8.0	2	42	6	50	△ 7.7	3	18	5	26	4.0	3	46	1	50	△ 6.0	5	37	8	50	

D I 値推移表 (H29.9月 ~ H30.8月期)

《売上高の推移》

前年同月比	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8
食料品製造業	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	▲ 50.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	25.0	10.0	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0	▲ 10.0	▲ 10.0
製造業計	15.4	7.7	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5	▲ 19.2	▲ 23.1
卸売業	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0	0.0
小売業(商店街含む)	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	18.2
サービス業	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	0.0
建設業	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	4.2	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 20.8	8.3
全体	10.0	4.0	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 8.0

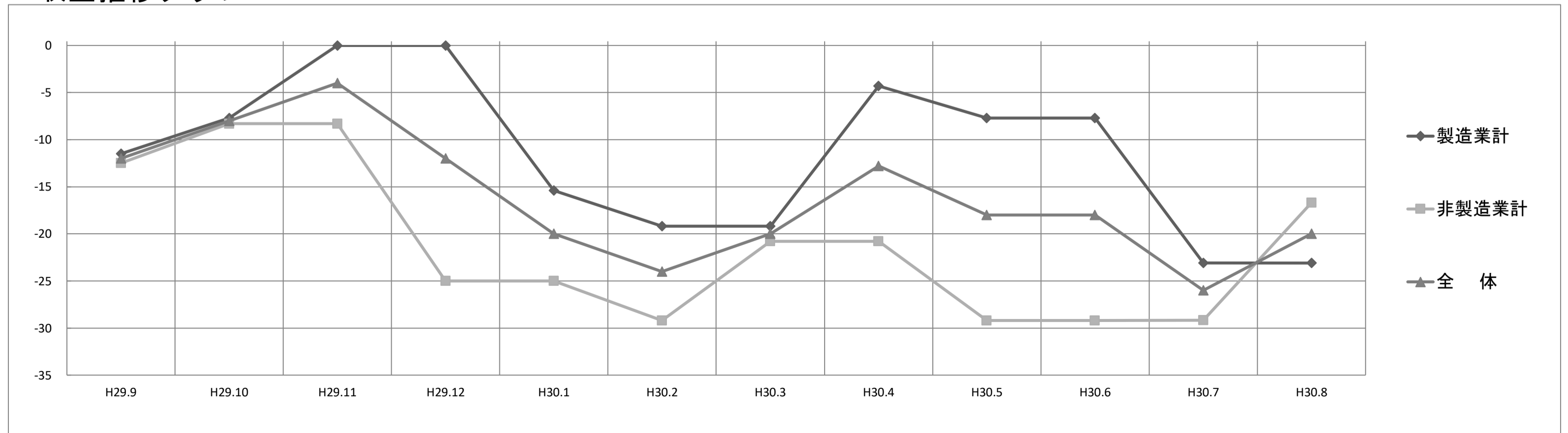
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8
食料品製造業	▲ 33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 23.1
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2
サービス業	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 16.7
全体	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 26.0	▲ 20.0

《収益推移グラフ》

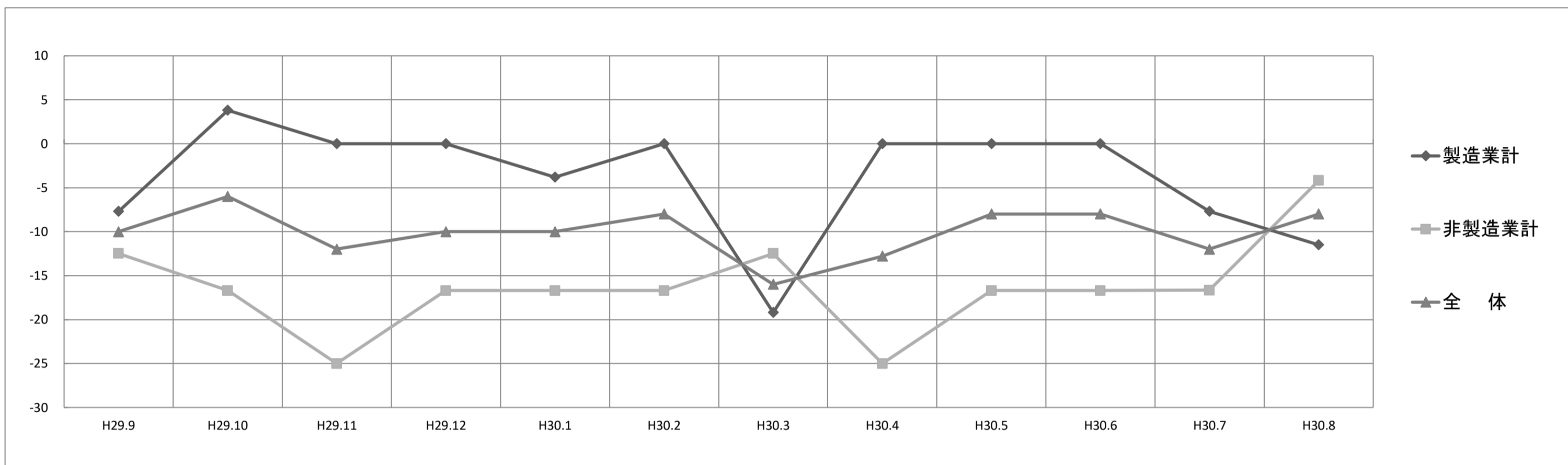


D I 値推移表 (H29.9月 ~ H30.8月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8
食料品製造業	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	0.0	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 7.7	3.8	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	0.0
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 4.2
全体	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 8.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8
食料品製造業	▲ 33.3	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	▲ 16.7	16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 15.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 3.8
卸売業	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2
サービス業	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 4.2	▲ 8.3
全体	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 6.0

《景況推移グラフ》

